教科	科目	単位数	学年	集団
芸術	音楽Ⅰ	2	1	総合探究科（選択）

使用教科書	副教材等
Tutii+（教育出版）	ミュージックノート（教育出版）

科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。また、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。
②思考・判断・表現	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができる。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。また生涯にわたり音楽を愛好する心情を育み、完成を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養おうとしている。

評価方法

①知識・技能（実技試験・筆記試験・ノート点検）
②思考・判断・表現（実技試験・感想文提出）
③主体的に学習に取り組む態度（行動観察）

学習計画

月	領域	単元	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	A表現	・校歌	・音符と休符の名称、奏法を学び理解する事ができる。	○	○	○
		・クラッピング	・速度標語等の楽語、強弱記号、反復記号、略記法を理解することができる。	○	○	○
5		・楽典	・歌唱用言に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って創意工夫している。	○	○	○
			・楽譜を読み取る技能を身につけており、より良い演奏をしようと取り組もうとしている。	○	○	○
6			・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけていいる。	○	○	○
7	B鑑賞	・鑑賞	・さまざまな年代、編成の曲を聴き、音楽史や楽器の特徴を理解すできる。	○	○	○

9	A表現	・リコーダー	・１学期に学んだ楽典を活かし、器楽に関わる知識や技能を得たり、またそれを生かそうとしたりしながら器楽表限を創意工夫し、さまざまな曲を演奏に取り組んでいる。	○	○	○
10		・ミュージックベル	・リズム、フレーズ等を把握し、表現を工夫して演奏に取り組んでいる。	○	○	○
		・楽典	・拍子記号や楽譜の書き方を学び、１学期の復習をしながら曲を作る。	○	○	○
11	B鑑賞	・鑑賞	・DVDを使い、映像と音楽の関わりを学び、音楽尾特徴と文化的拝啓、他の芸術との関わりを理解している。	○	○	○
12						
1	A表現	・グループ合奏 （創作）	・6人程度のグループで、3分程度の曲を演奏に取り組み、他者との調和を意識して創意工夫し演奏に取り組んでいる。	○	○	○
			・2学期の創作の知識を活用しようと取り組み、各グループに合うアレンジに挑戦しようとしている。	○	○	○
2			・アンサンブルの特徴を生かした技能をもち、にさまざまな楽器演奏の挑戦しようとしている。	○	○	○
3						